

「東京から関西へ」

修学旅行の移動でお世話になるものの筆頭、それは「新幹線」でしょうか。二泊三日で関西方面に団車で速く安く行くとすれば、この新幹線を使うしかありません。東海道新幹線の開業は昭和 39 年。



1964 年の東京オリンピックに間に合わせるように開通しました。修学旅行生が乗れるようになったのは昭和 47 年からです。まだ本数も少なく、一般旅客のための列車が優先だったためか、行きが各駅停車(?)の「こだま」号で京都まで 4 時間、帰りが速い「ひかり」号で、それでも 3 時間 10 分かかっていました。

新大阪まで 2 時間半の現代からは隔世の感がありますが、それでも、新幹線利用以前に比べれば雲泥の差だったようです。では、それまではどうやって関西方面に行っていたのでしょうか。新幹線がまだ使えなかった頃は、東海道在来線、「ひので号」という修学旅行専用列車を使っていました。

当時の時刻表を見ると、品川発が 午前 8 時 20 分で、狭いシートに押し込められてガタゴト走ること 7 時間半(!) 京都駅に着くのが 15 時 55 分で、降りる頃はもうくたくた、その日は見学どころではなかったとか…。帰りがまた凄いことに、京都駅発が午後 7 時 26 分、(午後ですよ…そう、いわゆる夜行列車ですね。) 品川駅に着くのは翌朝の午前 5 時 00 分となっています。行程はもはや三泊三日ですね。

4日(木)	集合 東宝前 5時40分 吉祥寺 6:15 — 品川 6:25 — 京都 10:55 — 旅館 11:00
5日(金)	旅館 — ○法隆寺 — 興福寺境内 徒歩 ○猿沢の池… 飛火野…春日大社…若草山々庵(中食)…二、三、四月堂 大鐘堂…大仏殿…南大門…南大門駐車場 バス 薬師寺 — ○宇治平等院 — 旅館
6日(土)	旅館 — ○平安神宮 — 銀閣寺 — 比叡山根本中堂 — 四明嶽(中食) — ○清水寺 — 三十三間堂 — 二條城 — 竜安寺 — 丸物(夕食)…京都駅 19:38
7日(日)	品川 5:00 — 吉祥寺 6:30 解散 東宝前 6:45 ○印は記念写真撮影場所

今なら東京-京都間を二往復できる時間をかけて着くという強行軍。昔はたいへんでした…。

さてさて、時は流れ、昨今は修学旅行専用列車も市民権を得て、往復が「のぞみ号」、しかも、運



が良ければグリーン車に乗れるかもしれないという、当時から比べると、なんとゴージャスな！と思われる行程です。ところでこのグリーン車、今はちょっと設備が豪華で、サービスも良くて、その分料金もちょっと

高いという(修学旅行では特別なサービスはなし。そのかわり料金も全員均一。確率は 16 分の 3、当たるかどうかは運次第です。念のため…) 特別車両という扱いですが、もとをたどれば階級制度のなごり、昔の二等車にあたります。列車に階級があった頃は、車両ごとに一等、二等、三等と等級が分かれていて、その区分が「イ・ロ・ハ」で示されていました。実は今でもこの区分は生きていて、モハだとかクハだとか電車の内外どこかに書いてあるはずです。「ハ」は昔の三等車、今は普通車を意味していて、グリーン車だと「ロ」がつくわけです。新幹線も同様で、こちらはカタカナではなく、形式の番号が 735 だの 775 だのとなっています。十の位の番号が 4 や 8 ならば普通車、3 や 7 ならグリーン車のようです。京都まで二時間半、その昔の四分の一の時間で着きますが、車窓を流れ行く景色を眺めるのも旅の醍醐味の一つ。友達とトランプしたりしゃべったりするだけではなく、ちょっと窓の外に目をやるのもいいものです。富士山が見えるとラッキーというところでしょうか。

